

2013年世界ショーダンス選手権大会代表選手選考会

2012年度全日本ショーダンス選手権大会

ボールルーム・ショーダンス部門
ラテン・アメリカン・ショーダンス部門

大会要項

- 1 日 時 平成24年5月6日(日) 10時00分～21時00分
- 2 会 場 三井ホール
中央区日本橋室町2-2-1 COREDO 室町5F エントランス4F
(東京メトロ銀座線/日本橋駅)
☎03-5200-3210
- 3 主 催 日本ダンス議会(JDC)
- 4 公 認 日本プロダンス協議会(JNCPD)
- 5 競技内容 全日本ショーダンス選手権大会は「ボールルーム部門」と「ラテン・アメリカン部門」にて行われ、決勝は6組により順位が競われます。
- 6 出場資格 2012年度日本ダンス議会(JDC)、財団法人日本ボールルームダンス連盟(JBDF)、日本プロフェッショナル競技ダンス連盟(JCF)、3団体に登録完了している国内選手。以下(JDC)(JBDF)(JCF)と称する。
(JDC)(JBDF)(JCF)3団体より推薦された各8組まで、合計24組まで。
(JDC)(JBDF)(JCF)各組織登録選手。
尚、合計組数に満たない場合には主催者(JDC)が不足組数を補充することができるものとする。
- 7 招待選手 ボールルーム部門、ラテン・アメリカン部門共、2011年度全日本ショーダンス選手権大会の上位3位までの入賞選手。
招待選手には、規程により旅費・宿泊費が支給される他、出場料が免除されます。
資格を取得した競技会と異なるパートナーと出場する場合は資格を失す。
※各組織の東部総局登録選手は出場料のみ免除されます。
- 8 オナーダンス
優勝者にはオナーダンスが義務づけられます。
- 9 照明 出場者の平等性を図るため一貫して行います。
- 10 リハーサル
出場者はリハーサルが義務づけられます。(日程等の詳細については後日)
- 11 肖像権 本大会の出場選手の肖像権並びに全ての権限は主催者にあるものとする。

1 2 審査 全日本ショーダンス選手権の審査員は、ボールルーム部門、ラテン・アメリカン部門ともに複数名の審査員で行われます。

1 3 出場料 出場料は下記の通りとし出場申込と同時に納入してください。
1 セクション ¥10,000-

1 4 出場申込

- 1 各組織の申込方法で各組織にお申込下さい。
- 2 記入事項は正確に、漏れなく記入してください。特に、登録番号・郵便番号・住所・連絡電話番号は必ず明記してください。
- 3 出場申込締め切りは平成24年4月16日(月)とします。
※締め切り日以降の受付は、一切致しません。
- 4 使用する音楽の提出期限は、平成24年4月18日(水)までに下記の「日本ダンス議会事務局」へ提出してください。
- 5 申込の送付先は、下記にお願い致します。

【JBDF】

〒103-0007

東京都中央区日本橋浜町2-33-4 日本ダンス会館4階

(財)日本ボールルームダンス連盟東部総局

全日本ショーダンス選手権大会係

Tel 03-5652-7351

Fax 03-5652-7354/7355

【JDC】

〒104-0032

東京都中央区八丁堀3-6-1 京橋長岡ビル8階-B

日本ダンス議会事務局

全日本ショーダンス選手権大会係

Tel 03-3297-2105

Fax 03-3297-2107

【JCF】

〒170-0005

東京都豊島区南大塚3-44-11-3F

コダマボールルームダンススタジオ内

全日本ショーダンス選手権大会係

Tel 03-3984-0456

Fax 03-3984-0766

15 チケット 指定席 フロアー席／8000円 A～E席／8000円
F～K席／6000円

チケット申込先：ニツ森 亨ダンスアカデミー（ニツ森）

☎03-5280-0013 fax:03-5280-2233

※全日本ショーダンス選手権出場者のみ上記にて受付致します。

16 ビデオ撮影

全日本ショーダンス選手権大会のビデオ撮影は禁止と致します。（デジタルカメラについても誤解が生ずる為に禁止と致します。）

17 賞金・賞品（ボールルーム部門、ラテン・アメリカン部門共）

1位	15万円	（税込み）	賞状
2位	10万円	〃	〃
3位	5万円	〃	〃
4位	4万円	〃	〃
5位	3万円	〃	〃
6位	2万円	〃	〃

18 当日、女性選手はヒールカバーを必ず着用すること。

19 JDC アマチュア登録選手の入場料の特典はございません。

20 全日本ショーダンス規程（WDC競技規程より抜粋）

1. 持続時間 (Duration)

ショーダンス競技会は3ラウンド以上にならない。

2. ダンス (Dances)

ボールルームショーダンス・ラテンアメリカンショーダンスは各5種目の中からダンスを選択しなければなりません。他のダンスからの要素は、振り付けを豊かにして、終了するのに使用されるかもしれませんが、選ばれた競技ダンスがショー全体の最低75%をカバーする。ダンサーは、リハーサルと競技の間中ときの同じリハーサルと同じ内容でなくてはならない。

3. 音楽 (Music)

ショーダンス競技会のための使用可能な音声搬送波をカップルに知らせなければなりません。ショーダンス競技会のための音声搬送波はいつも以下の通りになるでしょう。

a. カセット。

b. コンパクトディスク

DATや、MINI Diskや、Reel to Reelや記録などの他の音声搬送波の使用において、競技会の

充分前にステレオセットのどれが提供されることができるとチェックするために主催者に連絡しなければなりません。

バンド/オーケストラを使用するのであれば、カップルは、主催者の判断の元によって選ぶ事ができる。音楽は、実行されるためにダンスのリズムを示していなければならない、審査員に、明確に認識可能であるように。音楽はリハーサルと競技の間中同じでなければならない。

音楽著作権において、リハーサルのときに著作権のリストをオーガナイザーに知らせなければならない。リストは以下を含んでいる。編曲者・作曲家・作詩家・出版社とCDかレコードの名称等。

4. 時間 (Time)

ショー音楽の時間は2.45~3.30秒の間でなければなりません。どうあってもタイムリミットを超えてはいけません。タイムリミットを超え場合は失格とする。

5. ホールド (Hold)

ボールルームショーダンスでは、ホールドは次の最小限が必要です。

- a. 男性は左手で女性の右手を保持します。
- b. 男性は右手を女性の背中の場所に置きます。

ホールドからのどんな逸脱も1回の時間も、20秒考慮されるだけです。カップルが通常のホールドからいったん逸れると、ダンサーは少なくとも最低15秒間、撮り直されたホールドを維持しなければなりません、再び逸脱できる前に。始めと終わりを除いて、クラシックショーダンスの間の最大の量の可能な逸脱が4回です。競技の最初と最後は、20秒間の断片は許容されています。

6. リフト (Lifts)

3つのリフトが全体の性能のために受け入れられます。ショーでどこでもこれらを実行できます。各リフトは15秒を超えてはいけません。規則6.3.5が実現するリフトの場合に完全適応されたものに限る。

7. 支えとなる物と服装 (Props and Dresses)

入退場・競技の間も、支えとなる物は使用してはいけません。

女性のための服装の選択は、ショーのテーマに合って、補足する事ができますが、Ballroom かラテンのスタイルでなくてはならない。

8. 競技の監督者 (チェッカー) (Competition Invigilator)

あらゆるショーダンス競技会かどんな競争のためにも、ショーダンスがそこでの競技でどこの部分であるかは2人の競技の監督者でなければなりません。彼らは規則に違反したものに資格を取り上げる。

監督者を補助するために、主催者はスロー、そして、スチール写真が可能なビデオマシンを備えたビデオ人員を提供しなければなりません。

9. 競技 (The Competition)

すべてのカップルにとって、照明が同じ条件でなくてはならない、入り口と出口を含むシ

ョーの間中同じ条件でなければならない。

各ショーダンス競技に先行して、公式のショーダンスのリハーサルを、すべてのカップルには実際の床で彼らのショーを試す事に十分な時間を与えなければならない。

リハーサルにおいて、競技の音響技師は、音楽に、そこにいて何かあった場合は対応しなければならない。リハーサルに出席するのは、すべてのカップル、審査員長、競技の監督者（チェッカー）、およびビデオ撮影者が出席する。

すべてのショーが、単に規則違反の情報/証拠として使用されるためにリハーサルとショーの間、すべて撮影しなければならない。

リハーサルにおいて、競技の監督者（チェッカー）はそれぞれのカップルに忠告をしなければなりません、規則のこと競技のための彼らのショーを調整する機会があるように。

実際の競技における、規則の違反があれば直接失格につながります。

独創的な宗教アイデアは禁止されていなければなりません。

いかなる他のも一般的な道徳的な違反あるいは宗教問題を扱っているパフォーマンスは禁止されている、競技の監督者（チェッカー）がきちんとしなければならない。

リハーサルからの時間は終わります、そして、最初のラウンドは始まります。

1時間半以上空ける必要がある、前日、晩にリハーサルを行ってもよい。

10. ダンスの順番 (Order of Dancing)

抽選でダンスの順番を引き起こすものとします(すべての競争相手か選ばれた代表がそれで存在している権利を持っています)。

リハーサルのためのダンスの順番は最初のラウンドは同じでなければならない。

a. 4.5.6に置かれているカップルの中で前に抽選した順番で。

b. 1.2.3に置かれているカップルの間で、前に抽選した順番踊ります。

11. フロアーにおいてカップル番号の表示 (No. of Couple on the Stage)

カップルダンスの数は、審査員と観客によって見られるようにフロアーの上に表示することです。

12. 入場と退場 (Entry and Exit)

カップルは入場に15秒超えてはいけません。退場のときに、カップルは、30秒超えていない、フロアーから退場のめに、カップルは音楽を使用できます。退場音楽の時間の長さは同じ30秒まで厳密に制限されます。入場、演技、および退場の間、カップルはフロアーで単独であること。

13. ラウンドの間の時間 (Time between Rounds)

ショーダンス競技の各ラウンドの間には、最低30分必要である。

14. マークシステム (2007年1月1日) から適応します。Marking system (from 1st

January 2007)

決勝戦において、マークは、各ショーのために与えられる、比較して判決を下すのではなく、個別にそれぞれの働いているカップルに判決を下すのに基づくでしょう:

a. 技術的な質 (技術点)

i. ダンスの技術的品質。

b. アーティスティックインプレッション（芸術点）

i. 振り付け。

ダンスそのものは、最もふくよかな範囲に音楽を表現するのに使用されますか？

テーマがあれば、それは音楽のテーマを使用していますか？

振り付けに使用される賢明で音楽的に関連づけられた考えがありますか？

ii. 考えの独創性。

iii. 音楽の関連。

iv. 特定の音楽に振り付けに関連しているか。

v. テーマ考え(choreographically、表現、服装の選択)に関連しているか。

vi. 観客に充分アピールしているか。

すなわち、普通の競技会のような一般的方法。

審査員は、決勝、技術的な質と芸術性を考えることによって、決勝に先行するラウンドにおける彼らの決定を同じ原則に基礎づけなければなりません。

マークの範囲は点数として4.0～6.0までの間。

2つ以上のカップルに同じマークを持つことができません。

2セットのマークは各審査員から各カップルに割り当てられた点数が合計し、最も高い合計が最初の場所を受け、すなわち各審査員の結合したマークは順位に変換される。

審査員のマーキング・シートにおいて同点の場合、より良い技術点が優先する。

技術と芸術の点数だけを表示する。

各審査員結果を割り当てた後に、スケーティングシステムを使用しなければなりません。

上のマークシステムは決勝ラウンドだけに適用されるでしょう。

決勝に先行するラウンドでは、審査員は、不断のとおりカップルのエントリー数～、カップル必要数を選択するでしょう、すなわち、非ショーダンス競技会のように。

審査員は、決勝、技術的な質とアーティスティックインプレッションを考えることによって、決勝に先行するラウンドにおいても彼らに同じ原則に基づいた決定をしなければならない。

以 上